

令和5年度 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業
(Ⅱ 外国人の子供の就学促進事業)
事業内容報告書の概要

都道府県・市区町村・協議会名【 東近江市 】				
令和5年度に実施した取組の内容及び成果と課題				
1. 事業の実施体制 ○「東近江市プレスクール」の実施 実施回数…プレスクール説明会1回、プレスクール 11 回 開催時間…午後2時から午後4時まで 会 場…東近江市福祉センターハートピアを会場にして実施する。 指 導 者…10名(毎回5名程度が指導に当たる) 指導内容…小学校1年生の初めの国語科、算数科の学習内容及び学校生活に関すること 相 談 会…外国人未就学児とその保護者向けに就学に関する相談会を開催した。				
2. 具体の取組内容 ○「東近江市プレスクール」 ・実施日…1月 13 日、1月 20 日、1月 27 日、2月3日、2月 11 日、2月 17 日、2月 24 日、 3月2日、3月9日、3月 16 日、3月 23 日 ・学校生活に関する活動…始業の挨拶、時間割、教室、給食、そうじ、教科、持ち物等について知る活動 ・国語科の活動…絵本の読み語り、語彙を増やす活動、短文を読む練習、運筆練習、平仮名を書く練習 ・算数科の活動…数字の読み書き、答えが10までの足し算を習得する活動、10になる数を見つける活動 ・その他の活動…折紙、節分の豆まき、ひな人形の工作、ボール投げ等 ・参加したのは8名となった。 ・プレスクールの指導では、小学校生活が円滑に送ることができるよう鉛筆の持ち方や平仮名の読み書きといった国語科の内容の他、学校生活についての知識、算数科の足し算等に取り組んだ。 ○就学に関する相談会 ・小学校について、外国人未就学児とその保護者に説明をして質問等を受け付ける。				
3. 成果と課題 ・想定より参加者が少なかったが、手厚く指導することができたため未就学児に十分な力をつけることができた。 ・相談会では、未就学児は小学生の1日の過ごし方を写真(絵本)で見ること、新しい生活への意欲を高めることができた。保護者には1年生の教科書を見せてどのような学習をするのか知ってもらった。また、持ち物や学校の行事等についても説明を行った。子どもが小学校に通うに当たって気をつけてほしいことについて理解を深めてもらえた。				
	3～6歳	7～12歳	13～15 歳	16～18 歳以上 (過年齢)
本事業で対応した子供の数	8人	人	人	人
4. その他(今後の取組等) ・参加者が想定よりも少なかったので、来年度は参加者を増やす工夫を取り入れたい。				

※ 枠は適宜広げること。(複数ページになっても差し支えない。) 成果物等があれば別途提出すること。

※ 事業内容報告書の概要は、担当者・連絡先欄を除き文部科学省ホームページで公開する。